

しますえ・よしおコンサート

第25回



市川市文化会館小ホール

2019年10月24日(木)

¥5,000 全席自由

開場/PM2:30

開演/PM3:00



賛助出演:朝吹タツヤ

曲目

- ・百万本のバラ
- ・今日でお別れ
- ・愛の讃歌

その他

主催:市川ベルクールの会

後援:(財)市川市文化振興財団

<お問い合わせ・お申し込み>

市外局番 047

市川市文化会館

JR本八幡駅南口より徒歩10分

京成線八幡駅より徒歩13分

都営新宿線本八幡駅より徒歩10分

青木/321-3826

吉田/321-2257

山田/342-3500

宮井/702-5124

心を癒し、やさしさを紡ぐ「ビロードの歌声」 その原点に触れ、愛に包まれてみませんか？



歳月が心の景色を風化させていく中、過ぎた日の記憶を鮮やかに蘇らせてくれる歌があります。

「美しく輝いてあの日」…それは「郷愁」であり「慕情」であり、やさしさを思いやりに満ちた懐かしい時間です。

「ビロードの歌声」と称されるしませえ・よしおの歌う「シャンソン」は、そんな忘れかけていた心の原風景を呼び覚ましてくれます。人が心を潤わせ涙する「歌の原点」が息づいています。

しませえ・よしおは、幼い頃「小児マヒ」という病を患い、痛がる息子の体をさすりながら「代わってやりたい」と嘆く母の姿がしませえ・よしおの原風景です。

大人になっても後遺症に悩み、重ねて大病を患う中、あの日の母のように、しませえ・よしおを案じる人たちの愛に支えられてきました。

レパートリーの一曲に「声のない恋」という歌があります。1981年の「国際障害者年」にシャルル・アズナブールが作った曲です。手話を使いながら障害を持つ恋人に愛を語るこの歌を、しませえ・よしおが歌うと共感のさざ波が聞く人の心を震わせます。

現代は、目まぐるしく価値観が変化しています。こんな時代だからこそ、しませえ・よしおの歌に寄り添い、身を委ねてみませんか？

しませえ・よしおプロフィール

宇井あきら氏との運命的な出会いにより、「シャンソン」の道を志す。同氏の師事のもと、大学在学中より【銀巴里】に出演。

平行して菅野光亮氏の指導も受け、NHKや民放各局のオーディションに合格。CD・レコード等を多数リリース。その楽曲は、ラジオ番組の主題歌やTVCMとしても使われ人気を博す。

1984年のディナーショーには、「ヒゲの殿下」こと三笠宮寛仁親王殿下御夫妻にお越しいただくなど、その支持層は多岐に渡る。

また海外においても1990年のフランス公演では、リーヌ・ルノーと共演。『日本のシャンソン』がパリ市民の喝采を得る。その成功は、当時パリ市長だったシラク元大統領の耳に届き、パリ市庁舎に招待を受け直接の激励を受ける。

一方で全国各地でのコンサートやチャリティイベントも毎年開催。草の根活動としての「シャンソン」の普及と「歌を通しての心のふれあい」をライフワークとしている。

東京四谷二丁目にオープンしたシャンソニエ『蟻ん子』は34年目の今年も元気に営業。全国のシャンソン歌手とファンの皆さまに「歌と憩いの場」を提供しながら、自身も週に2回ほどのペースで出演している。

「蟻ん子」

TEL.03-3357-6404(月曜定休)

ホームページ

<http://www.chanson-arinko.com/>